

おかわり
ありませんか?

ごかせ

議会です!

第 59 号

令和3年 1月9日発行

まちかど相談コーナー

五ヶ瀬町議会



ふれあい広場

◀ 一月十六日(土)やります!

謹賀新年

- 町内巡回の現場写真・・・P 2
- 町内巡回報告・・・P 3
- 補正予算・・・P 4
- 議決結果・一般質問紹介・・・P 5
- 一般質問・・・P 6～P 9
- 行財政改革特別委員会・
公立病院特別委員会・第6次長期総合計画・・・P 10
- 視察紹介・広報クリニック・おしらせ・・・P 11
- 紹介します・地域の話・編集後記・・・P 12

ホームページはこちら▶

ポチッ
としてみらんの

<http://www.town.gok>



町内巡回報告

毎年の報告会に変え全議員で巡回しました。
意見・要望・苦情等を受け課題解決に向けて努力する事としました。

総務農林委員長 甲斐 松男
文教福祉委員長 小笠 まゆみ

人口減少・移住定住 14件

- ・対策急いで欲しい
 - ・空き家が増えている
 - ・集落機能が低下する
- ⇒第6次総合計画に基づき様々な対応策を行う
一般質問を行った

農林振興 16件

- ・遊休地・休耕地・耕作放棄地荒廃対策
 - ・引き受け、後継者の不足
 - ・鳥獣対策
 - ・用水路の管理問題
- ⇒コロナの影響を大きく受けている作物等には、国の政策、町単独支援を行っている
様々な対応策を行う
一般質問を行った

町内巡回を行いました！

コロナ禍により開催できなかった議会報告会の代替として、議員が4班に分かれて町内巡回を行いました。
町民の皆様からたくさんの貴重なご意見、要望をいただきました。



観光振興・第三セクター運営 11件

- ・うのこの滝全般
 - ・将来を見据えた観光振興体制づくり
 - ・スキー場の問題点・営業賛否
 - ・スキー場経営断念の考えは
- ⇒一般質問・行財政改革特別委員会で議論
今後も協議を重ねていく

公共交通・コミュニティバス 6件

- ・コミバスルートの変更要望
 - ・買い物支援
 - ・高千穂高校通学者に対する支援（地元に残る生徒を増やす）
- ⇒運行そのものの見直しの必要性を感じているので、総合的な議論・一般質問を行う

防災関係 38件

- ・河川改修要望
 - ・台風・大雨の被害対策
- ⇒対応出来る箇所の把握と調査。
担当課へ写真と共に報告を行い、優先順位・予算確保をして対応をお願いする。
県道は既に対応頂いたところもある



生活環境 11件

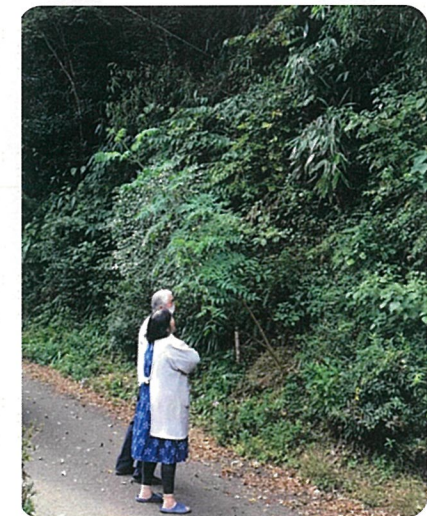
- ・水道に関する要望
 - ・公共住宅の苦情
 - ・ゴミ袋の苦情
- ⇒担当課・西臼杵広域行政事務組合へつなぐ
水道工事に関しては積極的に行っていくよう要望する

道路関係 55件

- ・町道・集落道・農道・林道に関する意見と要望
 - ・現地確認を含めた調査の要望
- ⇒担当課へ写真と共に提出し、県関係は県に働きかけていく

防犯・交通安全 14件

- ・防犯灯・カーブミラー設置
 - ・ガードレール設置・看板設置
 - ・側溝有蓋化の要望
 - ・緊急時の119番対応に関して
 - ・倒壊しそうな空き家の対応
- ⇒担当課へつなぐ
要望を行う・対策を練る



コロナ関連 5件

- ・農作物に対する支援
 - ・宿泊業者・商工業者に対する支援
 - ・行事・イベントなどの新しい形での開催要望
- ⇒既に対応しているものもあるが再度つなぐ

病院 7件

- ・病院運営・経営への危機
 - ・スタッフに対する苦情
 - ・診療所の維持管理
- ⇒病院につなぐ
あり方検討会が行われている。町民周知の徹底・接遇研修・人事交流の提案中

その他 36件

- それぞれの担当課へつなぐ
- 自助・共助・公助を見極めお互いに支え合い笑顔あふれる町五ヶ瀬を



令和2年第4回臨時会 議決結果

種類	議案名	審査結果	議決日
議案	令和2年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決	10/9

補正予算1件を審議しました。

令和2年第4回定例会 議決結果

種類	議案名	審査結果	議決日
議案	五ヶ瀬町議会議員及び五ヶ瀬町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について	原案可決	12/8
議案	五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	12/1
議案	五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	12/1
議案	五ヶ瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	12/1
議案	五ヶ瀬町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	12/8
議案	令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	12/8

種類	議案名	審査結果	議決日
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	物品購入契約の締結について	原案可決	12/8
議案	第6次五ヶ瀬町総合計画の認定について	認定	12/8
発議	地方議会議員の保障制度等の創設を求める意見書を国に提出することについて	原案可決	12/8
発議	議員派遣について	原案可決	12/8

条例5件、補正予算6件、その他10件を審議しました。

一般質問
我が町政を問う

12月の定例会では6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
議員の質問と町長等の答弁を集約した内容は6ページから9ページです。
※一般質問は議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

おがさ まゆみ
小笠まゆみ議員

- A E Dの設置と管理について
- 年長者の健康管理について
- これからの観光について
- 分煙環境整備とたばこ税活用について

わたなべ たかし
渡邊 孝議員

- 住宅・宅地の整備促進の考えについて
- 空き家対策について

あや けんいち
綾 健一議員

- 町道・農道の進捗状況は
- スキー場の今期の営業について

しらたき てつや
白瀧徹哉議員

- 第五期中山間直接支払制度取り組み状況は
- 公共施設の結露雨漏り対策について

かい まつお
甲斐松男議員

- 令和3年度予算案について

さとう せいし
佐藤成志議員

- 第1次産業プロジェクトチーム進捗状況は

令和2年五ヶ瀬町議会 12月定例会補正予算

第4回定例会は、12月1日に開会し、12月8日までの8日間の日程で行われました。
令和2年度10月の臨時補正予算(第4号)4,500万円と、令和2年度12月定例会一般会計補正予算(第5号)8,150万円をそれぞれ追加し、

過去最高額!!

総額

69億2,050万円に!!

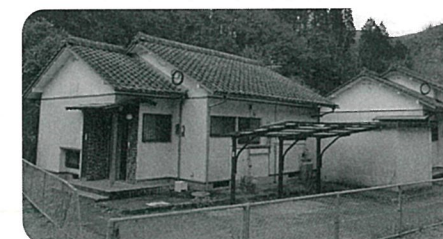
令和2年10月《臨時補正予算》(第4号)の主な内容は次のとおりです。

事業名	事業費	事業内容
災害復旧事業	4,006 万円	台風10号災害による災害復旧費
インフルエンザ予防接種費用助成	235 万円	インフルエンザ予防接種費用の助成を増額
子育て応援臨時給付金	150 万円	防護柵設置費支援 国の交付金対象外の子どもに対するの給付

令和2年12月《臨時補正予算》(第5号)の主な内容は次のとおりです。



防災無線デジタル化



教職員住宅



台風10号土砂災害

事業名	事業費	事業内容
デジタル防災行政無線設備事業(総務課)	1,095 万円	防災無線デジタル化設備の個別受信機新庁舎移設費
県職員住宅購入事業(総務課)	302 万円	貫原教職員住宅購入(敷地を含む)
災害復旧事業(建設課)	9,714 万円	7月梅雨前線豪雨 台風10号災害復旧
社会福祉協議会運営費補助金(福祉課)	1,124 万円	介護保険事業の減収に伴うもの
介護給付・訓練等給付事業(福祉課)	1,525 万円	障害者総合支援法に基づく給付の増
地籍調査委託料(農林課)	－3,869 万円	実施面積の減に伴うもの
国文祭・芸文祭実行委員会補助金(教育委員会)	－1,467 万円	延期による減額



おがさ まゆみ 小笠まゆみ議員

AEDの設置と管理について

町長 必要な事は検討していく

問 AED設置は中央から離れている消防詰所に順次設置する計画だったが現状で十分と判断しているのか、講習などは行っているのか

町長・総務課長

要望があれば対応している。現在、町が把握しているものは26箇所27台である。消防団は移動消防学校で訓練を受けている。地域での講習の要望があれば総務課に相談していただくと対応する。

問 設置場所が校内・屋内が殆どで、施設時間帯の使用に支障をきたす。屋外設置の検討は

町長

窓を壊してという事は中々である。屋外設置には、盗難の恐れもあるが、学校関係は屋外設置の可能性を教育長と検討していく事とした。

問 町民は現状を把握しているとは思えない。救急救命の方法と合わせて、町民へ周知徹底をはかるべきでは

総務課長

HPには記載しているが、必要であれば設置個所の周知を行う。

これから観光について

町長 個別に検討を重ねる

問 最近の観光には変化が生じている。臨機応変に、又柔軟に対応できるようにしていくべきだが、オートキャンプ場設置の考えは

町長

ロケーションの問題もあるが、先ずはスキー場パークで試験的に行ってみる方向で検討していく。

問 五ヶ瀬キャンプ場の老朽化が進んでいる。建て替えの考えは

町長

高速道路のインター付近になるという事で、今後の動向を見極めながら次なる手を打っていく。

企画課長

現在、NPO法人に管理を委託しているが、修繕をこまめに行い運営している。当面、建て替えの考えはない。

問 白滝へのアクセス道・うこの滝の遊歩道整備の考えは

町長 白滝への町道は交付金事業では厳しい。2車線道路は難しいが、回避所を要所に設置の検討になる。予算状況によるが調査設計から入る。うこの滝遊歩道に関しては、危険箇所もある事から、最低限、看板設置は行う。

年長者の健康管理について

町長 福祉課と連携し議論を重ね対応している

問 コロナの影響で健康面についての大きな変化がおきているか把握できているか。認知症が進んでいないか

福祉課長

地域包括支援センター職員・NPO職員などが電話対応・訪問を行ってきた。一時期進行がみられた方もあったが、社会参加が進行予防につながると考え対応している。

問 四肢の衰弱・体力の減退・心の病の状況と対策は

福祉課長

下肢機能の低下の報告はあったが、時間をかけて対策していく。介護予防サポーター養成を行い、来年度から居場所などで運動に関する指導を行って頂くことにしている。心の病に関しては、多くの方が抱えているのではないかと推察しているが、自殺対策の行動計画策定が義務付けられ、ゲートキーパー養成も行っている。保健師や職員が電話・訪問などの対応を行っているが、コロナに関しての影響は非常に難しく、これといった対応はできていない。

問 分煙環境整備とたばこ税活用について

総務課長

健康増進法の第一種施設にあたる。原則、敷地内禁煙となっていて要件をクリアできれば特定屋外喫煙場所として設置できる。受動喫煙防止を考え、適切な場所に設置を考えている。

問 公共施設の喫煙場所を改善する考えは

総務課長

ガイドラインに基づいて設置しているが、改善した方がよい場所があれば対応していく。

町長

たばこ税活用も考えているが、当面、分煙施設を作る考えはない。屋外の場所を選定を行い、喫煙する方・しない方双方に理解がもたれるように協議していく。



わたなべ たかし 渡邊 孝議員

住宅・宅地の整備促進の考えについて

町長 教職員や、単身者も利用できる住宅が必要と考えている。

問 過去10年間の整備状況を踏まえ、今後どう進めていく考えか

町長

この10年間、公営住宅の建設は行なっていないのが現状である。これまでも随時入居募集を行ったが、なかなか応募がない状況が続いており、住宅建設に積極的になれなかった一つの要因である。また、維持管理の問題から、多額の修繕料が必要となるなど課題もある。しかし、今後の本町の住宅整備については、教職員の方も含め、単身者も利用できる住宅が必要と考えている。また、民間業者の方に賃貸住宅を建設してもらえないかと模索しているところ。民間の方が参入しやすい支援制度ができないかと考えている。

問 住宅の種類によってニーズに違いがあると思うが、実態は把握されているか

町長

集合住宅よりも個別住宅、一戸建て住宅のニーズが多いと認識している。

問 現在、82戸の町営住宅があるが、鞍岡地区の住宅戸数が少ないように思う。新規の建設の考えはないか

町長

鞍岡地区への住宅整備は、その要望と必要性は十分に理解し認識している。また、桑野内・坂本地区においても同様の意見をお聞きしている。

問 住宅建設の民間への働きかけの状況は

町長

具体的にはまだ進んでいない。今後は助成制度などを含め、進めて行きたいと考えている。

問 町営住宅への移住や引っ越しに対する助成、支援の考えは

町長

今のところはまだ考えていない。

問 町内にある県教職員住宅に、10戸程度の空きがあるが、県教育委員会と連携して町教職員への貸し出しはできないか、できるか

教育課長

住宅の改修や災害時の一時的な仮住まいとしては了承を頂いているが、制度上難しい問題である。今後とも教職員の住宅が充実するように、更に努めていく。



問 空き家対策について近年空き家の増加が目立つが、貸家としての整備や活用状況は

企画課長

近年、空き家が目立つかどうか現実問題として、なかなかわからないところである。

問 空き家の断定や持ち主の使い方を含め本主に難しい状況である。

問 長年、そのまま放置された空き家も多いと思うが、町の景観や安全の観点から対策が必要では

総務課長

高齢化や、その他いろいろな理由で、長年放置された空き家があり、景観を乱したり、倒壊すれば、住民の生命や財産を守るという立場から大変問題と考える。所有者と協議し解体や、撤去等をお願いし対応していきたい。



あや けんいち 綾 健一議員

町道・農道の進捗状況は

町長 一度にはできない、整備は進んでいる

問 町道・農道の整備について現在の進捗状況は。舗装が傷み、穴が開いた所も見られるがその対応は

建設課長

町道・農道の進捗率は毎年県に報告しているが改良率が一度に上がらない状況。道路維持費全体で1、250万円は確保している。

問 町民は現状として進んでいないと感じている。路面整備等、重機使用料に150万円組んであるが、この枠を拡張できないか

町長

補助事業を原則に、中山間地域総合整備事業にある農道整備とか、小規模な簡易補修、生コン補修は県単事業、町単独事業で対応している状況。現在の予算で枠を作るのは難しい。国・県の予算を活用しながら進めていく。

問 町道・農道は重要な生活道路である。緊急の課題として道路修復に取り組んでほしい。単独事業として町の予算を組むことは出来ないのか

町長

国としても新規改良よりメンテナンス事業に予算の割り当てが増えている。町としても維持補修の事業におもきをおいている。維持補修費の予算を上げるべきとの意見で、現在全ての路線を建設課が調査している。町長と副町長で現状を確認して、早急にやるべき所は最終査定して予算編成する。

スキー場の今期の営業について

町長 感染予防対策を徹底して行いオープンする

問 コロナ禍の営業となるが具体策は

町長

「3密」の環境を避け、マスク着用、手洗い消毒など徹底を図る。感染防止対策としては、滑走中の感染リスクは低いが施設内では人との接触が考えられる。徹底した感染防止対策を取り、自社で作成したガイ

ドラインに沿った万全な体制と適切な対策を行う。ガイドラインは施設内それぞれの箇所に貼り出して感染防止対策のPRを行う。社員、従業員は毎朝出勤時に検温、健康チェック、手洗い消毒、フェースガード、マスク、手袋の着用を義務化する。万が一感染者が出てクラスターが発生した場合は関係機関と協議を行い、クロージング、一時休業等の判断を迅速に行う。

問 バスに乗る際は体温チェックを全ての方に実施するのか

町長

シャトルバスについては、ドライバーがそれぞれ検温して確認する。チケット販売所には検温器を設置する。

問 バス内の椅子や手すりの感染防止策はドライバーが行うのか

町長

シャトルバスの消毒は原則ドライバーが消毒する。利用者もマスクやフェースガードの義務化を図り、大声での会話を控えてもらう。

問 リフトの感染対策は

町長

リフトの消毒は考えてない。利用される方はマスク・フェースガード、手袋を着用されているので適宜判断でお願いする。

問 レストランは普段で250名程。今回は半数で営業すると聞くが「3密」は防げるのか

町長

施設内要所にアルコール消毒を設置する。カウンター・テーブルにはシールド・アクリルパネルを設置し、隣の席の飛沫等を防ぐ。チケット・カード金銭受け渡しは受け皿を用意する。テーブル・椅子・発券機・販売機・手すりの消毒は職員が行う。

問 今回は学生の来場客が多いと聞くが、スキー場に来るまで、教育がなされているのか

教育課長

学校は「3密」の回避、手洗い、顔洗い、消毒とマスクこれらは徹底している。全県下徹底していると認識している。





しらだき てつや
白瀧徹哉議員

第五期中山間直 接支払制度取り 組み状況は

町長 第四期と比べ協
定参加者数、対象
面積が減少、大き
な課題と捉えてい
る

問 協定離脱が増える
と近隣農家の生活活動、
農村環境への影響が懸
念される。実態は

町長 第五期は実施要件が
緩和されたものの現状
と、将来への管理負担
の懸念から3協定減少
条件の悪い農地につい
て除外が進んだものと
思う。

農林課長 第五期の状況は3協
定減少の55協定。
協定参加者数は91人
減少の693人。

町長 問題解決には担い手
との連携が重要、集落
内の中核的なリーダーへ
の農用地の利用権設定
農作業受託の推進等、
農業委員会と連携して
行なう。

問 担い手の農地集積に
係る負担軽減、税制措
置も今後図るべきでは

農林課長 新規就農者、規模
拡大を希望される方が少
ない状況。農地取得に
関する支援策はないが、
農地取得資金事業との
確認をしながら協議を
させていただく。

公共施設の結露、 雨漏り対策は

教育長 Gドーム結露対策に
は多額の費用が掛かる
と予想されるためto
to助成金の活用を考
えている。その際でも
3年を経過しないと申
請が出来ない事となっ
ており、令和5年度以
降の申請となる。
本年度、天井の鉄骨
部分に結露防止剤を試

令和3年度予算 案について

町長 厳しい財政状況
町民サービスの質
の低下をさせるこ
となく町民の生活
・地域経済を支援
する取組みを推進
していく

問 本年度予算で新庁舎
建設等の大きな歳出が
必要とされ、それに加
えて新型コロナウイルス
先が見えない状況にあ
る。その反動で緊縮財
政予算となるのではな
いかと心配している。
特に住民サービスの
面で予算が低下するの
では

町長 現庁舎の解体・敷地
造成・駐車場等の造成
事業で経費が見込まれ
る事を想定している。
プロジェクトの方が一



かい まつお
甲斐松男議員

問 予算面で町単事業費
あたりが減額になると
いう事になれば、建設
業・他の事業者あたり
に仕事面で非常に響い
てくるのではないかと

町長 インフラ整備につい
ては、原則は交付金事
業等の国・県が枠を取
る。予算範囲内での実
施に限られてくる。
地元関係の業者さん
には経済対策として施
策を打っていく。
今年には災害復旧事業
が少ないという状況だ
が、繰越事業を含めて
経済対策としての発注
はやっていく。

問 7区生活改善センタ
ーは、耐震基準が(マ
イナス)であるが、耐
震補強工事をすれば、
避難所として利用出来
るのでは。
地域内に高齢者も多
く災害時に上組小学校
までの移動が大変であ
る。何とか考えてくれ
ないかとの事。
すぐに耐震補強工事
は無理としても、調査
費なり、予算付けでき
ないものか



さとう せいし
佐藤成志議員

第1次産業プロ ジェクトチーム 進捗状況は

町長 令和2年3月に
立ち上げ、進行中

問 昨年12月議会で第1
次産業プロジェクトチ
ームについて質問した
一年経過したので、検
討・協議なされ、既に
実施された事業もある
と思うが進捗状況は

町長 第1次産業プロジェ
クト会議として令和2
年3月30日に立ち上
げた。
現在までの状況は、
町農林課職員、宮崎県
農政水産部と意見交換
を行った。今後は、町
内各地域での話し合い、
講演会の開催等を計画
している。

農林課長 令和2年度に入りコ
ロナ禍の影響で進め方
を再検討した。今後の

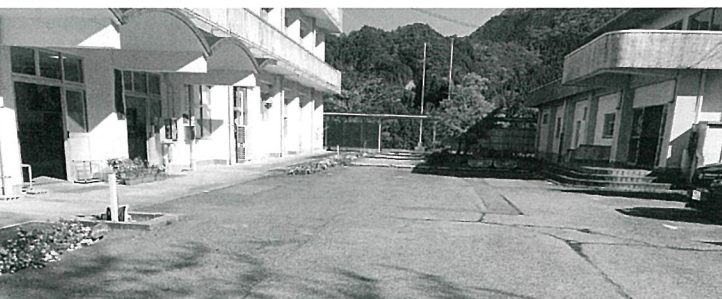
町長 町民の意向は、総合
計画を立案する段階で
聞いている。
7区センターの件は、
数年前からの御意見で
あり、写真真も見せて
いただき、検討に入っ
ている。
世界遺産のモデル地
域作りとしての位置づ
けの施設として捉えて
いる。今後、検討する。

問 第1次産業は長い間
衰退を危惧する状況が
続いている。国、県、
町で対策を講じている
がなかなか進まない。
その原因についてどう
考えるか

町長 人口減少、農業の魅
力、五ヶ瀬町の農業規
模、また将来の人口と
出口の部分が多くなか
ない部分がないなどある
プロジェクト会議メ
ンバーとともに、ある
程度方向性を見極めた
い。

問 町民のアンケートで
は将来、現状維持なの
か、規模縮小なのか、
拡大なのか、という
結果が出たのか

農林課長 農業経営及び農地の
利用意向に関し約70
0人が回答。規模拡大
等のアンケートには5
71名回答。規模拡大



鞍岡小学校

問 現時点で来年度に向
けてどの程度の予算を
組むのか

町長 ある程度予算要求が
終わった後の事業費目
安、と思っている。緊
縮財政の中での予算要
望ですから、総枠が、
どれくらいになるのか
今のところ全く分か
らない。



7区センター



無人ヘリ活用の様子

町長 スマート農業への取
り組みは農業が抱える
課題解決に、今後貴重
な役目を担うと思う。
ただ、投資コストが大
きいのが今の大きな課
題である。町内でも中
山間地域等の直接支払
制度を活用し、小型ヘ
リコプターによる農薬
防除が実践されている。
スマート農業は農林業
での労働力の軽減など
重要な取り組みである。
中山間地に適した機械、
施設の情報収集を行い、
補助事業の支援策等を
国、県に積極的に働き
かける。

問 スマート農業の壁は
導入費とある。労働時
間の大幅減少、作業の
疲労軽減に確実に効果
が出ている。導入コス
ト削減には国、県、町
の政策支援が必要だが

町長 高齢化、農地の問題、
担い手の問題等が、大
きくなっているが、新
規就農者が急激ではな
いが増えている。又、
中間管理機構の借り手
貸し手制度がなかなか
動かないが、使いやす
い制度になど、農業公
社との議論必要。当然、
国、県の支援をもらい
道筋をつけたい。

問 65%の方が規模拡大、
現状維持とあり、五ヶ
瀬町民の何とか農林業
を残したいと思う気持
ちが多い時に何か対策
が必要だが

～行政視察紹介～



熊本県山都町議会



福岡県豊前市議会



今後、タブレット導入を計画されている議会の皆さん方が五ヶ瀬町議会のタブレット活用状況を視察に見えました。

※研修会終了後、実際に議場でタブレットを操作していただきました。

2020 議会広報クリニック開催

令和2年11月18日に議会広報研修会が宮崎市（自治会館）で実施されました。

本町からは、綾健一（広報委員長）と渡邊孝（広報委員）が出席しました。

研修の内容は議会だより令和2年3月号についてのクリニックでした。

- 表紙の選定について
- 一般質問について
- 予算の記載の仕方について
- 議会の取り組みについて
- 委員長報告について
- 町民の声

以上の内容について良い点、改善点のご指導があり、中でも《町民の声》については、議会の重要な活動の一つですと高評価でした。

今回の勉強をいかし、町民目線に立ち、今後益々より良い議会だより作成に努めてまいります。



やりますよ！ まちかど相談コーナー開設のご案内

議会の新しい取り組みとして、町内を巡回しましたが、留守の世帯も多く、話がしたかったという声がありました。今回、巡回時に話ができた方も、そうでない方も、話にこらっさんですか？

日程 令和3年1月16日

時間 9時から16時まで

場所 ふれあい施設（商工会前）



※感染症の状況で変更になる可能性があります。

行財政改革特別委員会報告

報告者 特別委員会委員長 秋本 良一
副委員長 小笠 まゆみ

五ヶ瀬ハイランドスキー場決算報告を受けた。

新型コロナの影響による売り上げの大幅な減により、赤字決算となっているが経費も大きく削減している。来場者は過去最低である。決算に関しては、各世帯へ配布されている。

現在、ハイランドは、スキー場と木地屋の経営を行っている。温泉利用分の入湯税は一人150円で352万円を町に納めている。又、資本金が大きいために、赤字決算でも210万円の法人税を支払っている。

今期はコロナ対策の持続化給付金を受けている。

又、コロナ関連でセイフティネットを活用、6000万円の自社借入れを行っている。この融資は、据え置きや、利子補填などの優遇措置がある。

決算期が6月～5月までの為、4月～3月までの決算にすべきではないかと何度も提案している。3月末にはスキー場の経営状態を把握できるので、予算審議の判断もできる。議会は、3月定例会で次年度の予算を審議し、9月議会で決算を受ける。ハイランドの決算は、7月に正式な決算報告が仕上がる流れで9月定例会中に行われてきた。その年の営業に関して反対意見が出たとしても、現場は既に動いているというのが実情である。ここを改善しないと、三セクの運営判断は厳しいと思われる。

スキー場は、既に宮崎の宝という位置付けとなっている。運営に関しては、拙速な判断とならないように町民の声に耳を傾け、しっかりとした議論を行うべきと考える。

今期は12月25日から営業を行っているので、町民自らが精一杯応援していこうではありませんか。

公立病院の広域医療等に関する特別委員会報告 報告者 委員長 小笠 まゆみ

西白杵地域医療における問題点解決プラン（案）【概要版】の説明を受けた。

現状の分析、3町公立病院の病床機能の把握と再編案、再編スケジュール、外来医療・在宅医療・一般会計繰入金金の推移・今後の方向性などの内容であった。

現在の町立病院は、一般病床36床、介護療養病床18床の54床。高千穂が120床、日之影50床。

2025年に西白杵郡で必要となる医療病床数は、177.3病床と推計され、43.7床多いことになる。

3町公立病院の病床は、現状のままで急性期が多く、回復期及び慢性期の病床が不足することになり、医師をはじめ医療従事者の確保の厳しさもあり、病床機能の役割分担を検討している。町立病院の介護療養病床18床は「介護医療院」に転換しなければならず、機能転換するとともに居室稼働率を向上させ、病院の収支を改善することにより一般会計からの繰入金を増加させない試算とされる。

目指すものは、医療行為だけでなく、誰一人取り残さない為に地域住民を包括的に支援していく体制を構築していくこと。

12月21日に第一回西白杵郡地域医療のあり方検討委員会が開催された。

各町議会からも1名ずつ委員として参加している。今後もしっかりと議論します。

第6次長期総合計画可決

今定例会において、令和3年度からの長期総合計画が上程され、可決しました。

内容に関しては町広報紙や、ダイジェスト版が配布されますのでパンフレットなどをご覧ください。

本計画には、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標の、「誰一人取り残さない」SDGsのアイコンを項目ごとに記載してあります。5次の検証を基に策定されており、指標が明記されています。五ヶ瀬町の次なる将来像は、人と「ともに」地域と「ともに」自然と「ともに」笑顔でつながるまち五ヶ瀬としています。

議会では、この総合計画は町民すべての参画により実現されるものと捉え、今後の活動にも活かして参ります。又、この計画は、町がどう動いていくべきかの指標にもなっていることから、町民の皆さんにも目を通して頂き、共に実現に向けて参りましょう。

全てにおいて「人」ありきです。支え合い、助け合い、思いやりをもった町を築き上げていきましょう。

紹介しまーす!

集落支援員第1号の西村千恵子さんをご紹介します。
社会福祉協議会に20年以上勤務されました。

現在は、8区全体を様々な形で支援する、集落支援員として
ご活躍頂いてます。

※主な活動内容は…

○高齢者移動支援

○やっちみろ会(9名)との週一の活動

○集落を訪問して、お知らせの伝達や声かけなどの見守り活動を行
い、簡単なことは手伝うようにしています。

※幅広い世代と交流しながら、8区地域の今後のあり方を話し合っ
ています。

※これからの思いは、自分たちで課題をみつけ知恵を出しあい、集い、
楽しみながら活動したいです。又、今あることを次世代に伝えていく
ことを大切にしています。との事でした。



8区集落支援員
西村千恵子さん

★西村さん、頑張ってくださいね! 議会は、全区に配置を要望しているところです。

…… 地域の話題 ……

五ヶ瀬町『祇園山』から湧き出る『素粒子機能水』誕生!!

《日向四億年の雫》 《水ダイヤ》

今回は、鞍岡の丁子地区に新しく設立された(株)Y・Gテックさんをご紹介します。

【設立】令和2年6月8日から前会社を買い取って本格的に製造・販売開始

【商品】飲料水《日向四億年の雫》《水ダイヤ》、化粧水など、中でも《日向
四億年の雫》《水ダイヤ》は、今、注目の商品とのことです。

8時間かけ素粒子精製したこの商品は、ミネラルバランスが良く、
「細胞の活性化」「必要な栄養素がいき渡る」「毒素の排出がしやす
くなる」などの期待が高いそうです。

また、調理や、お客様への飲料水として使われているホテルもあり、

さらに、マラソンランナー池上秀志選手も、ご愛飲されています!!

将来は、祇園山のゼロ磁場を活かした、〈パワースポット五ヶ瀬を夢見
て〉日々努力をされているようです。

私たちも、今後益々の、ご発展を願っております。



編集後記

あけまして おめでとござ
います。

昨年は、新しい生活様式が
定着し暮らしが大きく様変わ
りした一年でした。

地域で支えあいながら希望
に向かって一緒に乗り越えて
いきましょう。

本年も、町民の皆様に議会
活動を身近に感じていただ
ける様に、わかりやすく読み
やすい広報誌を目指してい
ます。

発行責任者

議長

甲斐 政國

議会広報編集委員会

委員長

綾 健一

副委員長

白瀧 徹哉

委員

小笠まゆみ

委員

甲斐 松男

委員

渡邊 孝